

平成 28 年度幼児教育の推進体制構築事業成果報告書（概要）

1. 調査研究テーマ

- (ア) 「幼児教育アドバイザー」育成・配置に関する調査研究
- (イ) 「幼児教育センター」の設置に関する調査研究

2. 平成 28 年度に実施した主な調査研究内容

(1) アドバイザー訪問施設数（平成 29 年 3 月 31 日時点）：

幼稚園			うち、幼稚園型 認定こども園			幼保連携型 認定こども園			保育所		うち、保育所型 認定こども園		地方裁量型 認定こども園		小学校
19/93			1/1			0/16			11/192		0/4		0/2		0/141
園			園			園			所		園		園		校
国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	私	公	私	公	私	
0/0	18/19	1/74	0/0	0/0	1/1	0/0	0/0	0/16	10/89	1/103	0/1	0/3	0/0	0/2	
園	園	園	園	園	園	園	園	園	所	所	園	園	園	園	

※アドバイザー配置人数：15 人

※アドバイザーの最終経歴：公立保育所長経験者 1 人、公立保育所主任保育士経験者 1 人
 公立幼稚園長経験者 5 人、国立幼稚園副園長経験者 1 人
 私立幼稚園長経験者 1 人、主任指導主事経験者 1 人
 公立小学校長経験者 1 人、大学教授（現職）2 人
 大学准教授（現職）1 人、大学講師（現職）1 人

(2) センターの設置：

- ・設置年度：設置済み（平成 28 年度 9 月）
- ・設置形態：部署間連携により代替

(3) その他幼児教育の質の向上を図るために必要な推進体制に関する調査研究

- ・幼稚園教諭（保育教諭を含む）、保育士の資質・能力の向上に向けた体系的な研修計画の策定に向けた調査研究

3. 成果

(1) アウトプット

- ① 幼児教育の推進体制構築事業の円滑な推進に当たり、専門的見地から幅広く意見を聴取するため、学識経験者、教育関係者、関係団体代表者、行政関係者で構成する「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」を 4 回開催し、「幼児教育アドバイザーの役割」、「教諭・保育士等の研修」、「保幼小の接続」について、今年度の取組状況を踏まえた論点整理を行った。
- ② 教育委員会事務局とこども未来局との連携・協働により、幼児教育センターとしての機能を担う「幼児教育支援協議会」を設置し、次の事項について調査研究を行った。
 - (ア) 幼児教育センター機能と役割について
 - ・先進地視察により必要な機能や役割について情報を収集
【視察地：群馬県、前橋市、栃木県、福井県、北九州市】
 - ・事業を推進する上で生じている課題等から本市の幼児教育センターに必要な機能と役割を検討
 - (イ) 幼稚園教員（保育教諭を含む）、保育士の資質・能力の向上に向けた体系的な研修計画の策定について
 - ・幼児教育・保育に携わる新規採用者に対する研修会を平成 29 年度から実施予定

(ウ) 幼児教育アドバイザーの人選・活用について

- ・ 幼児教育の知識と経験豊富な大学教授や幼稚園、保育園の元園長、教育委員会の元主任指導主事等からなる幼児教育アドバイザーを15名委嘱し、各園からの幅広い要請訪問に応えられる体制を整備
- ・ 平成28年11月、平成29年1月～3月上旬にかけ、合計54回の園訪問を実施
- ・ 幼児教育アドバイザー連絡協議会を開催（4回）

(2) アウトカム

① 関係団体等との連携・協働による成果

- ※ 平成28年度 幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会における「論点整理」より
- ・ 教育委員会、こども未来局、各関係団体等が「幼児教育の推進体制構築に向けた懇談会」において、本市全体の幼児期の教育・保育の質の向上に向け、活発に意見交換が行えたことで、本市の子供達を共に育てていくための推進体制充実に向けた連帯感が醸成された。
- ・ 幼児教育アドバイザーの役割や姿について、議論を進めるとともに訪問実績を積み重ねていくことで、本市の求められる幼児教育アドバイザー像が確立してきた。

【本市の幼稚園・保育園等が求める幼児教育アドバイザーの役割や姿】

幼児教育アドバイザーは研修講師等の役割にあわせ、教師や保育士等の保育についての相談や悩みへの対応、園の良さ（強み）を今後更に伸ばしていくことに焦点をあてたアドバイスを行うなど、各園の変容を評価し、教師や保育士等の教育・保育に対する意欲が高まるような助言を実施

② 幼児教育アドバイザー派遣に係る成果

- ※ 訪問園から提出された「幼児教育アドバイザー訪問実施報告書」から成果を抜粋
- ・ 幼児教育アドバイザーの活用により、園内研修における議論が活発化した。
- ・ 幼児教育アドバイザーからの園の取組に対する評価や保育に対する効果的なアドバイスによって、保育者の意欲が向上した。
- ・ 幼児教育アドバイザーからの具体的でかつ実践に役立つ事例に基づく研修を行ったことで、保育者の子供へのかかわり方に変容が見られてきた。 等

4. 上記を含めた、平成29年度の実施計画

(1) 「幼児教育支援協議会」の運営

教育委員会事務局とこども未来局との連携・協働における成果と課題を踏まえた幼児教育推進体制の充実（各機関との連携の充実）

- ・ 幼児教育センターの具体的な役割や機能についての検討
- ・ 幼児教育センター設置に向けた方向性の検討

(2) 「研修に関する連絡協議会」（研修企画会議）の開催（年10回）

- ・ 公私の幼稚園教員（保育教諭を含む）、保育士の資質・能力の向上に向けた体系的な研修計画の策定に向けた検討（3カ年計画の2年次）
 - (ア) 新規採用者（教諭、保育士、保育教諭）の合同研修を実施
 - (イ) 公立私立の幼稚園教諭の研修の体系化についての検討
- ・ 幼保小接続カリキュラム普及に向けた研修についての検討・策定

(3) 幼児教育アドバイザーの活用（配置）

- ・ 幼児教育アドバイザー連絡協議会の充実（定期開催）
- ・ 幼児教育アドバイザーの雇用形態等に係る検討
- ・ 幼児教育アドバイザーの活用による幼保小接続カリキュラムの普及
- ・ モデル園でのアドバイザー活用による効果の検証（効果測定指標の検討）
- ・ 公民館等における講演会などの実施による保護者支援の充実（家庭と園との教育・保育の連携を促進）

No. 20 広島市教育委員会

- (4) 幼児教育アドバイザースキルアップ研修計画の策定・実施
 - ・ 幼児教育アドバイザーによる支援の質的向上を図るための研究推進
(私立幼稚園・保育園が求めるニーズに応じた支援や指導・助言方法の実践)
 - ・ 訪問等による実態調査
- (5) 先進地視察及び受託自治体との連携
- (6) 成果の普及
 - ・ 広報番組や広報紙、HPによる情報発信や近隣の地方公共団体に報告書などを配布
 - ・ 「広島市幼児教育の推進体制構築事業シンポジウム」における研究成果の発表